

JFFID 2023 日本代表強化合宿 [3月開催]

報告者：日本代表監督 西 真一

1 日時・場所

期間：2023年3月17日（金）～19日（日）

場所：さくらスタジアムほか（栃木県さくら市）

2 強化合宿の目的

- ・スタッフ：新しい選手の発掘
- ・選手：世界基準を知る

3 スケジュール

期日	午前	午後	夜
3月17日（金）	集合／コロナ抗原検査	フィジカルチェック トレーニング	ミーティング
3月18日（土）	トレーニング	トレーニング	ミーティング
3月19日（日）	トレーニングマッチ	コロナ抗原検査／解散	

4 スタッフ・選手

スタッフ：6名

選手：20名

5 コロナ対策

- ・集合時 3/17（金）、選手・スタッフ全員に対し抗原検査を実施。陰性確認。
- ・解散時 3/19（日）、選手・スタッフ全員に対し抗原検査を実施。陰性確認。

6 トレーニング・ミーティング及びゲーム

【YO-YO】 間欠性回復力 level 1

【40m走】

【クランク走】

【攻撃】 ゴールを目指す

- ・パス&コントロール&サポート、2vs2+1F、4vs4+2F、ゲーム

【守備】 ボールを奪う

- ・パス&コントロール、1vs1、2vs2+1S+1S、6vs6、ゲーム

【GK】

- ・基本技術（基本姿勢、構えるタイミング、ポジショニング等）
- ・ゲーム時適応能力（ディストリビューション、声、ポジショニング等）
- ・GKとしての姿勢（気構え・責任感）

【ポジション別】

【ミーティング】

- ・日本代表プレーモデル

【トレーニングマッチ】

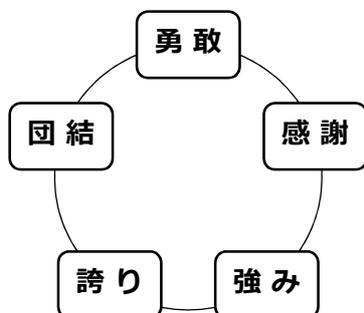
3/19（日） vs 宇都宮短期大学附属高校 35分ゲーム×3

1セット JFFID 日本代表 0-1 宇都宮短期大学附属高校

2セット JFFID 日本代表 3-3 宇都宮短期大学附属高校

3セット JFFID 日本代表 1-0 宇都宮短期大学附属高校

7 JFFID 日本代表IDENTITY



日本代表、それは夢の舞台で躍動する集団
日本人である誇りと個々の強みを持ち
日本の勝利のために覚悟し、それを団結する
すべての関わりに感謝し、勇敢に世界に挑む。

8 総括

次の世界大会に向けて新しい日本代表チームの活動でした。招集した選手 20 人のうち初招集は 9 人で、緊張感のあるなかで新旧選手の融合もあり質の高いトレーニングができました。

ミーティングにおいて、自分の持っているものをすべて出し切ることが次に繋がること、そして代表選手に求めるプレーモデル&メンタルを提示し、その基準をもちトレーニングを行いました。最終日のトレーニングマッチでは、相手選手との違いを生み出すプレーが多くあり、3日間と短期間ではありましたが充実した合宿となりました。

初日のフィジカルテストでは、これまでの代表選手は更に高い基準にトライすること、初招集の選手については、現段階での自身の状態を把握し次に繋げていくことを求めました。

ボールを使ったトレーニングでは、初招集の選手は判断のある中でのプレーの質、プレースピード、プレー強度に慣れない選手がいましたが、勇気をもってトライするように粘り強く促すと、潜在していた能力が表面化し、その後は自信をもった質の高いプレーに繋がりました。

次へのチャレンジとしては、守備時のボール状況に応じた良い準備と意図的なアクションです。個人戦術を重ね合わせて連動した守備に繋がることを考えると、守備の個人戦術の理解と発揮は代表候補選手として求めるべきものであります。その視点でいえば最終日のゲーム時、特にFWの選手の守備の個人戦術の理解と強度には物足りなさを感じました。また、4局面における切り替えは早くなりましたが、守→攻時の判断のある状況下でのパス、ドリブル、サポートの質が低いことは次へのチャレンジです。

地域において、プレーの原則、個人戦術を踏まえたトレーニングを、質と強度を保ちながら行っていただきたいと思います。

最後になりますが、合宿地であるさくら市、栃木県サッカー協会及びJFFID技術委員のサポートをいただきました。また、選手を送り出してくださいました各地域の技術委員及び指導者等、関わる全ての皆様に心から御礼を申し上げます。日本全体のレベルは間違いなく向上しており、地域の皆様の日頃のご尽力の賜物です。新しい日本代表チームが更に上を目指し、全国のサッカー選手の夢や希望となれますように、引き続き代表活動にご理解とご協力をお願いいたします。

ありがとうございました。

